

製品名: FBXL11 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87058**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:500-1:1000,IP 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:133 kDa; Observed MW:133 kDa

抗原情報

遺伝子名	FBXL11
別名	FBL7; CXXC8; FBL11; FBXL11; JHDM1A; LILINA
遺伝子 ID	22992
SwissProt ID	Q9Y2K7
免疫原	ヒト FBXL11 の合成ペプチド

背景

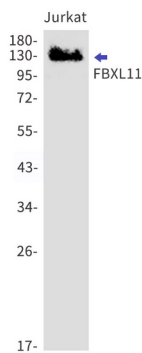
この遺伝子は、約 40 個のアミノ酸モチーフである F ボックスを特徴とする F ボックス タンパク質ファミリーのメンバーをコードしま

す。F ボックス タンパク質は、リン酸化依存性ユビキチン化に機能する SCF (SKP1-cullin-F-box) と呼ばれるユビキチン タンパク質リガーゼ複合体の 4 つのサブユニットの 1 つを構成します。F ボックス タンパク質は、WD-40 ドメインを含む Fbws、ロイシン リッチ リピートを含む Fbls、および異なるタンパク質間相互作用モジュールまたは認識可能なモチーフを含まない Fbxs の 3 つのクラスに分類されます。この遺伝子によってコードされるタンパク質は Fbls クラスに属し、F ボックスに加えて、少なくとも 6 つの高度に変性したロイシン リッチ リピートを含みます。このファミリー メンバーは、エピジェネティック サイレンシングにおいて役割を果たします。CpG アイランドを核とし、ヒストン H3 のモノメチル化およびジメチル化されたリジン 36 を特異的に脱メチル化します。選択的スプライシングにより、複数の転写産物変異体が生じる。[RefSeq 提供、2012 年 1 月]

研究分野

-

画像データ



FBXL11 抗体 (1:1000 希釈) を使用した Jurkat 細胞溶解物中の FBXL11 のウェスタンプロット検出。